

F.P.ジュルヌのケースと文字盤を製造するカドラニエ及びボワ
ティエ・ジュネーブが新たな建物を竣工



2012年ジュネーブ郊外のメイランに設立されたカドラニエ・ジュネーブとボワティエ・ジュネーブは、2023年6月26日F.P.ジュルヌの時計製造における厳しいニーズを満たす為、特別に設計された真新しい建物への移転作業を終えて、新体制での業務を開始しました。

このプロジェクトは3年前、ヴェイロ通りにある旧工場を購入することから始まりました。その後、敷地の解体、建築設計及び再建が行われました。

光に満ちた新たなワークショップは、様々な環境要因を正確に制御することを目的として設計されています。この取り組みにより製造プロセス全体を通じて最適な時計製作を保証するために温度と湿度の調整システムが統合されており、ここで働くスタッフや職人全ての製作効率の向上や快適な環境で改善にも役立ちます。このような投資を行う目的は製作本数を増加させる為ではなく、最新の機器を導入して効率的により良い環境で仕事を行う事で更なる品質の向上と合わせて得られる従業員の健康は何にも代えがたくこれらを守る事は私達にとって非常に大切です。

F.P.ジュルヌは常に社内における各々の専門知識を最優先に取り入れ、これがブランドのアイデンティティを形成する大きな特徴となっています。

私達の独立性は、ジュネーブの中心部に位置するマニュファクチュールに反映されており、ここでムーブメント部品の製造から装飾および時計製造の大部分がこのワークショップが行われています。したがって、早い段階からフランソワ・ポール・ジュルヌが独自の文字盤とケースの製造工房を持ちたいと考えたのも特段驚くべきことではありませんでした。

この強い信念は、時計製作におけるこれらの重要な要素を制御し、伝統的な時計製造に関連するノウハウを保存したいというジュルヌの強い願望を反映しています。

この新たな施設の落成式には、ナタリー・フォンタネット 国務院副大統領、デルフィーン・バックマン 州議会議員、ローラン・トランブレ・メイリン 行政議員を含む地元当局の代表が出席し、この地域における弊社プロジェクトの重要性が評価されました。式典の後、ゲストは施設内の様々なワークショップ見学に招待されました。